

～みんなで取り組む〇〇の秋～



11月に入り、秋が一日一日と深まってきました。読書の秋、スポーツの秋、食欲の秋などという言葉を目にしますが、その言葉のとおり、何をするにも気持ちのよい季節です。

10月29日に青葉の森陸上競技場で行われた千葉市小学校陸上大会は時折小雨が降る寒い中での実施でしたが、6年生の選手が学校の代表として力いっぱいの演技を見せてくれました。

登校時には運営委員によるあいさつ運動が行われ、昇降口ではボランティア委員が募金やエコキャップ活動に取り組んでいます。昼の校内放送では、放送委員がハッピーボックスやじゃんけん大会を企画し、保健委員ははみがきソングで歯の健康を、美化委員は上手な掃除の仕方と呼び掛けています。各教室では毎朝の元気な歌声とともに、自分の好きなものや住みたい場所等をスピーチする姿が見られます。このような工夫を凝らした様々な取組をとおして、一人一人の心が成長していくのだと改めて感じる毎日です。子供たちが自ら考えた活動は、決められた活動とは意欲も楽しむ気持ちも変わります。

「あすなろ」というヒノキ科の樹木は、檜よりも木が比較的小さいことから、「明日はヒノキのように大きくなろう」という意味を込めて呼ばれ始めたという説があります。今後も子供たちが自分達で〇〇の秋を見つけ、あすなろの木のように目標をもって大きく成長していけるように、そして、笑顔の花がたくさん咲くように、全職員で支えていきたいと思えます。

保護者の皆様、地域の皆様には引き続きご支援、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

校長